

会 議 録

会 議 名	平成30年度第1回野田市社会教育委員会議
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 少子高齢社会の社会教育について（公開） 2 東葛飾地区社会教育連絡協議会等の日程について（公開）
日 時	平成30年6月8日（金） 午前10時から午前11時55分まで
場 所	野田市中央公民館 講堂
出席者氏名	委 員 小松崎 明、木名瀬 訓光、文道 尚子、茂呂 嘉男、 河内 賀子、鈴木 正勝、横川 しげ子、高井 千鶴、 佐藤 秀夫、鈴木 昭夫、松尾 師孝、沖田 多恵子 事務局 佐藤 裕（教育長） 杉山 一男（生涯学習部長） 宮澤 一弥（生涯学習部次長兼社会教育課長） 大倉 純（社会教育課長補佐兼生涯学習振興係長） 志賀 純子（社会教育課生涯学習振興係主任主事）
欠席委員氏名	戸張 泰
傍 聴 者	無し
議 事	平成30年度第1回野田市社会教育委員会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。
	1 開会 2 委員長挨拶 3 教育長挨拶 事務局から、会議の公開、欠席委員の報告、会議成立の報告、傍聴者の報告及び会議録作成のための録音機の使用の説明を受ける。 新任委員の挨拶後、事務局から委員及び事務局職員の紹介を受ける。 4 議事 議題 「少子高齢社会の社会教育について」

議長	前回までに出された意見を整理し、再度、素案をまとめ直している。本日、皆さんと内容を確認した上で、意見書として教育長に提出したい。 少子高齢社会の社会教育について、資料１ページ「１．少子高齢化～野田市の現状として～」を事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば、発言願いたい。
A委員	下から３段落目、「希薄化が指摘されるが、」とあるが、後に続く文章は否定形ではないので、「指摘されており、」としてはどうか。
宮澤課長	委員御指摘のとおりであると思う。この場で委員の皆さんの御了解を得られれば、御指摘のとおりに修正したい。
議長	A委員の意見のとおり修正することによろしいか。 <委員了解>
議長	事務局は、A委員の意見のとおり修正していただきたい。 次に、資料２ページの「２．社会教育に求められること」の読み上げを事務局にお願いする。 資料２ページの「２．社会教育に求められること」を事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば、発言願いたい。 私の意見を申し上げる。私自身としては、学び直しをもっと盛大に進めていきたいという思いがある。そこで、１段落目の「今こそ求められているのが、「関わりあい」である。」を「「関わりあいの再構築」と捉えた。」としてはどうかと思う。 続けて、２段落目の「いずれの課題においても、」の次に「基盤となることは」を加え、「糸口を導き出そうとするものであり、身近な関わりの構築、更には、学びを通じた地域づくり、まちづくりを目指すものである。」を「導き出せることであり、変化の学びを通じた地域づくり、まちづくりが欠かせない。」に修正したい。 続けて、４段落目「諸情勢の急激な変化を受け、社会教育は」

	の次に「豊かな学びの推進とともに、」を加え、「社会や地域の課題と向き合い、」の次に「変化に対処できる」を加え、「学びを媒介とする」を削る。さらに、「構築、再生へとつなげる重要な役割を担うことが求められている。」を「構築、再生に着目した関わりづくりが急務と思われる。」に修正したいと思うが、いかがか。 杉山部長、いかがか。
杉山部長	個人の学びは必要なことだと思うので、この部分が修正されたことと、「豊かな学びの推進とともに、」という文言を加えていただいたのは良いと思う。全体をそしゃくできていないが、「学びを媒介とする」という文言はいい言葉だと思っていたので、これが削られたのは残念である。ただ、全体の文脈の中で、この言葉があるかいないかは、もっと読み込まないと分からない。
議長	おおよそ、よろしいということではいいか。
杉山部長	全体を打ち直したもので議論した方が分かりやすいと思うので、少し時間を頂きたい。
議長	修正が終わるまで、先に進める。「3. “豊かな” 関わりの構築をめざして」の（1）について、事務局読み上げをお願いします。 資料2ページから3ページの「3. “豊かな” 関わりの構築をめざして」の（1）基盤となる地域コミュニティを事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば、発言願いたい。
B委員	前回の会議で、3ページの5段落目にある「相互に連携を図っていくことが求められている。」ということはとても大切なことなので、もう少し肉付けをしてほしいとの意見を申し上げていた。その際に発言したあおいそら運動に係る記載が追記されており、大変有り難い。 また、気になる点として、3ページの3段落目に「NPOやボランティア団体等」という記述は、「NPO法人やボランティア団体等」とした方が良いと思う。
宮澤課長	2ページの表に記載している内容と整合を図る意味でも、委員

	ご指摘のとおり修正したい。 加えて、御指摘をいただいた箇所ではないが、2ページの表の「地域型のコミュニティ」中の「老人会、婦人会、子ども会、青年団等」という記載について、現在は「老人会、婦人会」という呼び方はしていないので、これらを適切な呼称に修正させていただきたい。
杉山部長	例えば、「老人会」は「高齢者団体」、「婦人会」は「女性団体」ではいかがか。
C委員	問題ないと思う。
宮澤課長	ただ今の修正は呼称の問題のみなので、事務局で確認の上、適切な呼称に修正させていただきたい。
議長	そのように願います。 ほかに意見がなければ、ただ今の箇所を修正することでよろしいか。 <委員了解>
議長	それでは、資料3ページ「(2) 各種、社会教育活動の中で」の「①活動や取組から見えてくる少子高齢化」について、事務局読み上げをお願いします。 資料3ページから4ページの「(2) 各種、社会教育活動の中で」の「①活動や取組から見えてくる少子高齢化」を事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば発言願いたい。
D委員	4ページの1行目から2行目にかけて「オープンサタデークラブ（放課後子供教室）」とあるが、オープンサタデークラブと放課後子供教室（正式には、放課後子供教室未来塾）は別の事業なので、「オープンサタデークラブ、放課後子供教室未来塾」としていただきたい。
宮澤課長	ただ今の御指摘について、「放課後子供教室」というのは、国の補助事業のメニューの名称を記載したものである。一方で、2

	行目に記載されている「子どもの学び舎」は野田市独自の呼称である。整合を図る意味で、「オープンサタデークラブ、子ども未来教室、公民館の「子どもの学び舎」」に修正させていただきたい。
議長	ただ今の箇所は、事務局で整理するということでよいか。 <「はい」と答える者あり。>
宮澤課長	4ページの下から3段落目、「積極的に地域へ参画する人々は」という書き出しの記述について、一文が長く、また、表現も分かりにくい。この部分についても事務局で整理させていただき、後ほど提案させていただきたい。
A委員	4ページの4段落目の「中間年齢層の不在については」というくだりについて、前後の文脈から判断すると、現状と課題が一緒に論じられているように思う。3段落目の「中間年齢層の不在という課題が生じている。」に続けて、「中間年齢層の不在については、」として、「近年の高齢者は、平均寿命の延伸とともに、積極的に活動している」をこの文章の中に入れるか、若しくは削る。そして、「一方で、高齢者は社会から孤立しがちな世代でもあり、」と続けた方がよいと思う。 4段落目の「近年の高齢者は、平均寿命の延伸とともに、」という書き出しは、少し唐突な感がある。恐らく、これは最後の「高齢者のエネルギーを引き込む」という文章につながっているのだと思うので、文章の中で、「担い手として、平均寿命の延伸とともに、積極的に活動している高齢者のエネルギーを引き込む等」と入れて、「その一方で、高齢者は社会から孤立しがちな」とつなげるとしっくりくると思う。
議長	整理して文章化してほしい。
A委員	「中間年齢層の不在については、従来の役割をそのまま引き継ぐのではなく、役割を見直し、親世代が参加しやすい仕組みを構築するとともに、親世代が関われない活動をサポートする担い手として、高齢者のエネルギーを引き込む等、柔軟な体制づくりが望まれる。」とし、この後に「近年の高齢者は、平均寿命の延伸とともに、積極的に活動している人が多い。」を入れても良い。これに続けて、「その一方で、高齢者は社会から孤立しがちな」

	とすると良いと思う。 文章が長いのであれば、どこかで一旦切ることも考えてはどうか。
宮澤課長	御指摘のとおりであると思う。 4段落目については、「近年の高齢者は、平均寿命の延伸とともに、積極的に活動している人が多いので、高齢者のエネルギーを引き込む等、」とした方が、つながりが良いので、このように修正したい。また、「親世代が関われない活動をサポートする担い手として、」を例えば、「担い手となることが望まれる。」という形で一旦文章を切って、「近年の高齢者は、元気な人が多いので」と続けた方が、つながりが良いと思う。
志賀主任主事	「担い手となることが望まれる。」「体制づくりが望まれる。」と「望まれる。」が続いてしまうのはよろしくない。
E委員	「担い手となることが必要である。」としてはどうか。 <宮澤課長、修正内容を反映した形で4ページの2段落目から通読>
A委員	「担い手となることが必要である。」の後に「そこで、」を加えた方が、更につながりが良いと思う。
E委員	「担い手が必要である。そこで、平均寿命の延伸とともに、積極的に活動している高齢者の」とするのはいかがか。
宮澤課長	ただ今の意見を踏まえ、事務局で整理させていただきたい。
議長	①については以上でよろしいか。 <「はい」と答える者あり。>
議長	では、②について、事務局読み上げをお願いする。 資料4ページから5ページの「②豊かな関わりづくりの環境醸成」を事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば発言願いたい。

議長	ないようなので、次に進む。「4. 調整力としての行政の役割 ～「従来重視」から「変化への手助け」へ～」について、事務局読み上げをお願いします。 「4. 調整力としての行政の役割 ～「従来重視」から「変化への手助け」へ～」を事務局が読み上げる。
杉山部長	1 段落目の最後、「行政としては、…果たしたい。」と3 段落目の最後、「行政機関は、・・・努めなければならない。」の2 か所について、主語に対して述語に違和感がある。 前者については、例えば「行政としては、調整力としての役割を期待される。」であればしっくりくる。 また、4 段落目も文章が長くなっているので、「思いがけない効果の創出が期待される。」と、一旦区切って次に続けた方が分かりやすいと思う。
議長	杉山部長の御指摘のとおり修正してよいと思う。 ほかに意見はないか。 ないようなので、次に進む。6 ページ「5. すべての活動に地域の特性を生かす」について、事務局読み上げをお願いします。 資料6 ページの「5. すべての活動に地域の特性を生かす」を事務局が読み上げる。
議長	意見等があれば発言願いたい。
E 委員	ページの中断に「例えば、」として①から④まで例示しているが、ここは、「例えば、」ではなく「具体的には、」とした方がよいと思う。
議長	御意見のとおりに修正することとしたい。
杉山部長	ただ今の「例えば、」の2 行上の文章に「非常に恵まれた特質を有している」とあるが、「特質」ではなく「特性」とした方が前後の文章との整合も図ることができて良いと思う。
議長	ほかに意見はないか。

B委員	5ページの4番に戻ってしまって申し訳ない。原案では、行政が行っている事業等が何も記載されていない。これでは、行政は何もやっていないような印象になってしまう。実は、市民活動支援センターという機関が立ち上がっていて、市民の活動をつなげるような働きをしている。市民活動のまとめ役としての存在に発展してきていると思っている。こういった動きをしていることを、どこかに盛り込めないか。
議長	どこかに加えることは可能か。
宮澤課長	可能である。
F委員	市民活動支援センターのことを載せるのであれば、公民館活動についても載せていただいた方が、更に良いと思う。 先ほど、「行政としては、調整力としての役割が期待される。」と修正することになったが、実際には「期待される」どころか、調整をしていただいております、大変助かっている。
宮澤課長	市民活動支援センターの活動と公民館の活動について、どこに加えればいいのか事務局側で整理し、後日お示ししたい。 本日は、各委員から御意見を頂きつつ意見書をまとめ、提出していただく予定であったが、修正には相応の時間を要すると思われる。そのため、意見書の提出については、後日改めてということにさせていただきたい。
議長	本日修正することは無理であると思うので、事務局の提案のとおりとすることで良いか。御異議がないようなので、事務局は、役に立つ意見となるよう整理していただきたい。 以上で、3年半に及んだ議論を終えたいと思う。
議長	報告 「東葛飾地区社会教育連絡協議会等の日程について」 事務局、説明をお願いします。 資料に基づき、事務局が説明する。
議長	今後の社会教育委員会議の日程は11月中旬と2月に予定されているので、委員におかれては、できる限り会議に出席できるよう調整をお願いします。 また、今年度は、東葛地区社教連の事務局は野田市になってい

るので、事務局でいろいろと企画をするほか、私と副委員長が様々な会議等に出席することが多くなる。委員の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

連絡事項として、千葉県の社会教育の会議が5月にあった。その際、ルールを少し変えていただきたいという意見が出された。県は会長が1人、副会長が3人おり、役員の任期を継続できるようにしてほしいという提案が執行部からあった。

それから、東葛地区振興大会の会場については、昨年オープンした川間公民館を考えている。お披露目を兼ねての提案であり、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

次に、現在、野田市は、手賀の丘少年自然の家の審議委員になっている。施設の利用を勧められているので、機会を見て、是非皆さんも訪問し、利用してみしてほしい。

それから、総合教育政策局の設置を今年度から始めるという話がある。総合教育政策局というのは、学校教育と社会教育の筆頭局になるということである。生涯学習の重要性が一層高まっているという流れの中で出来た組織だと思うが、また縦割りになるきらいがある。どう整理するかということが課題になってくると思う。

以上である。

議長

委員の皆さん、事務局、何かあるか。

ないようなので、以上で平成30年度第1回野田市社会教育委員会議を終わる。